

『プロジェクトの作り方』

これまで参加した企画(イベントもしくはプロジェクト)の中でよかったと思うものはなんですか？
またなぜよかったと思ったのでしょうか？

1.企画の流れ

☆企画(イベントもしくはプロジェクト)を開催する上で☆

テーマの妥当性(理念)

→なぜその企画が必要なのか？

手段の妥当性

→方法は誤っていないか？

* イベント系の落とし穴に注意

そのうえで企画をさらに詰める必要があります。

- ・対象は誰か？
- ・準備期間
- ・実施期間
- ・型式
- ・場所
- ・予算
- ・スタッフ

【マトリックス分析】

2.チームビルディング

- ・基本的にボランティア
- ・モチベーションストラテジー
- ・コミュニケーション(交流会)

企画に限らず、運営全般にいえることでもあります、持続性が大切。

そのためにも無理はしない。楽を出来るところは楽をする。モチベーションを保てるよう楽しめる環境をつくることと社会的な意義をもつことは重要です。

以下、事例研究です。

▶団体

- ・NPO 法人ドットジェイピー
- ・模擬国連駒場研究会
- ・AIESE Japan

▶プロジェクト

- ・wAds 2008
- ・模擬国連 TICAD プロジェクト

▶イベント

- ・TUNEPENDA AFRICA11 月学習会
- ・東京財団

NPO 法人ドットジェイピー

目的: 若者に政治を身近に感じてもらうこと(ホームページより)

活動: 議員・首長・その他(省庁、自治体、大使館、NPO など)にインターン生を受け入れて頂き、学生にインターンを体験して頂くことで体験学習の機会を提供する「インターンシップ事業」(一人でも多くの日本を創る人材の創出を目的)、Web を通しての Yahoo をはじめとした「議員情報提供」もあれば、政治漫画のプロデュース、さらには本のプロデュースなどの「コンテンツ事業」、このほかにも YES プロジェクトやマニフェスト大賞といった「社会貢献活動」を行っております。

模擬国連駒場研究会

目的: 活動を通じて国際感覚と社会性を有し未来の社会に指導的立場から大いに貢献できる人材を育成

活動: 模擬国連会議、企画制度を通じた自主性の育成、レビュー時間大幅各代(議題の再考)

AIESE Japan

目的: 次代の国際社会を担うリーダーを生み出す

活動: 国際インターンシップの提供

wAds 2008

目的: 日本のHIV/エイズをめぐる現状を、若者から変えていくこと

(1. 新規HIV感染者、エイズ発症者増加の防止、2. HIV感染者・エイズ患者との共生社会)

活動: 街頭キャンペーン、レッドウオーク、学会での発表、政治家との対話など

(ターゲットを明確に打ち出している点(関心層、無関心層、政府やメディア)が高い評価が出来る。)

▶イベント

TUNEPENDA AFRICA11 月学習会

目的: アフリカの真の姿(暗い事だけではなく、楽しい、生きる強い力)を知ってもらう。

内容: 自主制作ビデオ上映

(単身アフリカに渡り、ビデオを取り、映像を作成した女子学生の講演とビデオ上映。)

*参加者は60名を超える盛況ぶりでした。

東京財団講演会 日本は安保理で何をすべきか

目的: 2009年1月から非常任理事国として国連安保理に復帰する日本が、任期2年の間に果たすべき役割は何か、求められるものとは、そして具体的なアクションのための戦略は何かを考える。

【登壇者】高須幸雄(国連日本代表部特命全権大使)

北岡伸一(東京財団主任研究員、東京大学教授)

星野俊也(大阪大学教授、前国連日本代表部公使参事官)

池田伸壹(朝日新聞 GLOBE シニアライター)